

令和6年度委員会報告

〔 8 〕 感染管理委員会

委員長 堀江 恭子

1. 委員会開催状況

1) 委員会 11 回

2) 検討事項

- (1) 令和6年度研修検討、実施、評価(感染管理担当者研修)
- (2) 令和6年度研修検討、実施、評価(リーダーとして知っておきたい自部署を守る感染対策研修)
- (3) 介護施設ラウンドについて
- (4) 感染管理ネットワークづくりの検討
- (5) 研修動画内容の検討、作成
- (6) 令和7年度研修計画立案
- (7) 介護施設等感染対策ラウンドに関するアンケートについて

2. 活動報告

1) 研修会等開催

(1) 研修名 感染管理担当者研修～対策立案・実践・評価(フォローアップ)を学ぶ～

開催日 9月27日、9月30日、令和7年2月7日

講師 佐賀大学医学部附属病院 的野多加志 氏

九州病院 感染症看護専門看護師 堀江恭子 氏

福岡ゆたか中央病院 感染管理認定看護師 中山佐代子 氏

福岡東医療センター 感染管理認定看護師 有川法宏 氏

姫野病院 感染管理認定看護師 中西穂波氏

飯塚病院 感染管理認定看護師 丸谷知実氏

内 容 「感染症に関する基礎知識」「感染管理マネジメント」「感染対策マニュアル作成・改訂」「感染管理対策の実践」「組織における感染管理活動の実践：活動紹介」「自施設の感染管理に対する課題の整理と対策立案」「取り組み報告及び今後の活動に向けた対策の検討」

対 象 自部署又は自施設の感染管理に関わる看護職(看護実践能力習熟度段階Ⅱ～Ⅳ)

受講者 40 名

(2) 研修名 リーダーとして知っておきたい自部署を守る感染対策～感染リスクを考える～

開催日 7月2日

講師 済生会大牟田病院 感染症看護専門看護師 中村友美 氏

内 容 主な医療関連感染と予防策、抗菌薬使用の基礎知識、事例検討

対 象 看護実践能力習熟度段階Ⅱ～Ⅲ

参加者 116 名

(3) 研修名 リーダーとして知っておきたい自部署を守る感染対策研修～感染リスクを考える～
(アーカイブ配信研修)

開催日 9月19日

講師 済生会大牟田病院 感染症看護専門看護師 中村友美 氏

内 容 主な医療関連感染と予防策、抗菌薬使用の基礎知識、事例検討

対 象 看護実践能力習熟度段階Ⅱ～Ⅲ

参加者 47 名

2) 介護施設ラウンド 計8回

(1) 特別養護老人ホーム 能古清和園 (福岡市西区) 6月14日(令和5年度未実施施設)

ラウンド者 感染管理委員 有川法宏 宮崎里紗

(2) 特別養護老人ホーム さわみ園 (北九州市戸畑区) 9月24日

ラウンド者 感染管理委員 堀江恭子 中山佐代子

(3) サンホーム 八女 (八女市) 10月10日

ラウンド者 感染管理委員 中西穂波 中村友美

(4) 特別養護老人ホーム 長光園 (直方市) 10月17日

ラウンド者 感染管理委員 中山佐代子 丸谷知実

(5) 特別養護老人ホーム ちくしの荘 (筑紫野市) 10月25日

ラウンド者 感染管理委員 船津康弘 宮崎里紗

(6) 介護老人保健施設 ローズガーデン M.K. (福岡市東区) 12月6日

ラウンド者 感染管理委員 有川法宏 船津康弘

(7) 医療法人福満会 みつみ介護老人保健施設 (福岡市東区) 12月23日

ラウンド者 感染管理委員 宮崎里紗 堀江恭子

(8) 医療法人新生会 介護老人保健施設 ひまわり (北九州市八幡西区) 令和7年2月14日

ラウンド者 感染管理委員 丸谷知実 有川法宏

3) 感染管理に関する無料動画作成

内容 「手指消毒」「個人防護具の着脱」

3. 今後の課題・検討事項等

今年度は「感染管理担当者研修」「リーダーとして知っておきたい自部署を守る感染対策」の2つの研修を開催した。「感染管理担当者研修」は、令和5年度以降受講者の減少が続いていることから、受講しやすいよう、内容を見直し、研修期間を4日間から3日間に短縮し、受講対象者を拡大した。3日間であっても、受講者からは「学びが深まった」との評価が得られ、問題解決につながっていた。しかし、受講者の減少が続いているため、令和7年度は実施せず、令和8年度以降の再開を目指し、今年度の評価をもとに内容や開催方法等を検討することとした。令和7年度は、感染症看護専門看護師や感染管理認定看護師に対象を絞り、認定更新に役立つよう6時間の研修を計画している。また、「リーダーとして知っておきたい自部署を守る感染対策」研修は、業務のリーダーをする看護実践能力Ⅱ以上を対象として、集合・アーカイブ配信研修を実施し、アーカイブ配信を含め定員近くの受講者数となった。研修後のアンケートでも高評価が得られており、受講者のニーズに合致していたと考えられた。次年度も一部内容を変更し、開催する。

介護施設ラウンドは、昨年度末実施分を含め8施設を訪問した。今年度の新たな取り組みとして、施設で活用できるような感染対策資料を作成し、ラウンドの指導の際にも活用した。複数年訪問した施設では、これまでのラウンドで指導した内容が改善されており、施設ラウンドの効果があつたことがわかった。平成25年から実施してきた介護施設ラウンドの内容をまとめ、第25回福岡県看護学会で報告する予定である。

新たな取り組みとして、施設での教育等で活用できる動画を作成した。内容は「手指消毒」と「個人防護具の着脱」とし、次年度から当協会のホームページ上で無料配信する予定である。評価は次年度行う。

次年度は、県内の感染管理に関わる看護職のネットワークの構築、施設における感染防止対策への支援として中小規模施設を対象とした感染管理の相談を行うことを企画した。今後は、広報などを含め、どのようなネットワークづくりができるか継続して検討していく。